

CASBEE[®] - 建築(新築)

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	浜松日産自動車株式会社 和田西店	階数	地上2F
建設地	静岡県浜松市東区和田町760-1、760-2	構造	S造
用途地域	工業地域、防火地域指定なし	平均居住人員	30人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,650時間/年(想定値)
建物用途	物販店,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年10月 予定	評価の実施日	2020/3/3
敷地面積	4,551 m ²	作成者	神宮字 可明
建築面積	2,429 m ²	確認日	2020/3/6
延床面積	2,593 m ²	確認者	鈴木猛



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.8 ★★☆☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆☆ 100%: ☆☆☆☆ 100%超: ☆☆☆☆

① 参照値: 276 (kg-CO₂/年・m²)

② 建築物の取組み: 91%

③ 上記+②以外の: 91%

④ 上記+: 91%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 **Qのスコア = 2.7**

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.2

LR 環境負荷低減性 **LRのスコア = 2.8**

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合 利用者に配慮し、F☆☆☆☆を使用している。ライフサイクルコストの低減に努め、地球環境保護に配慮している。		その他 特になし。
Q1 室内環境 JIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している。	Q2 サービス性能 リフレッシュスペースが執務スペースの1%以上。主要内装仕上材は耐用年数が高い材料を使用している。階高: 5.875 m。0.1 ≤ [壁長さ比率] < 0.3。	Q3 室外環境(敷地内) 特になし。
LR1 エネルギー 特になし。	LR2 資源・マテリアル 節水コマなどに加えて、省水型機器(節水便器)を用いている。LGS使用している。あるいは発泡剤を用いた断熱材等を使用していない。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率が、一般的な建物(参照値)に対して91%。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



欄に数値またはコメントを記入

1. 建物概要						
建物名称	浜松日産自動車株式会社 和田西店 建替工事	BEE	0.8	BEEランク	B-	★★

2. 重点項目への取組み度						
重点項目	得点 [※] /満点	取組み度	評価			
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	3.2	/5				ふつつ
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	2.9	/5				がんばろう
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	3.4	/5				ふつつ
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	2.5	/5				がんばろう
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)		評価 凡例	よい 4 点以上	ふつつ 3 点以上	がんばろう 3 点未満	

3. 重点項目についての環境配慮概要		内訳対応項目				
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。						
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進(Global Warming)		得点		3.2		
	■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) ④主要内装仕上げ材は耐用年数が高い材料を使用している。	Q-1	2	2.1 3.1 3.2	2.2 3.1 3.2.1	① 外皮性能 ② 昼光利用設備 ③ 昼光制御
		Q-2	2	2.2 2.2.1 2.2.2 2.2.3 2.2.4 2.2.5 2.2.6	④ 躯体材料の耐用年数 ④ 外壁仕上げ材の補修必要間隔 ④ 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 ④ 空調換気ダクトの更新必要間隔 ④ 空調・給排水配管の更新必要間隔 ④ 主要設備機器の更新必要間隔	
	■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上)	Q-3	1		⑤	生物環境の保全と創出
			3	3.2	⑥	敷地内温熱環境の向上
	■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用)	LR-1	1		⑦	建物外皮の熱負荷抑制
		2		⑧	自然エネルギー利用	
		3		⑨	設備システムの高効率化	
		4	4.1	⑩	モニタリング	
			4.2	⑩	運用管理体制	
	■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) ⑪節水コマなどに加えて、省水型機器(節水型便器)を用いている。 ⑬発泡剤を用いた断熱材等を使用していない。	LR-2	1	1.1 1.2	⑪ 節水 ⑪ 雨水利用システム導入の有無 ⑪ 雑排水等利用システム導入の有無	
		2	2.1	1.2.1 1.2.2 2.1.1 2.1.2 2.1.3 2.1.4 2.1.5 2.1.6	⑫ 材料使用量の削減 ⑫ 既存建築躯体等の継続使用 ⑫ 躯体材料におけるリサイクル材の使用 ⑫ 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 ⑫ 持続可能な森林から産出された木材 ⑫ 部材の再利用可能性向上への取組み	
		3	3.1 3.2	⑬ ⑬	⑬ 有害物質を含まない材料の使用 ⑬ 消火剤 ⑬ 断熱材 ⑬ 冷媒	
			3.2.1 3.2.2 3.2.3			
	■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善)	LR-3	1		⑭ 地球温暖化への配慮	
		2	2.2	⑮	温熱環境悪化の改善	
"災害に強いしずおか"の形成(Disaster)		得点		2.9		
	■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性)	Q-2	2	2.1 2.1.2	⑯ 耐震性 ⑯ 免震・制振性能	
			2.4	2.1.1 2.4.1 2.4.2 2.4.3 2.4.4 2.4.5	⑰ 空調・換気設備 ⑰ 給排水・衛生設備 ⑰ 電気設備 ⑰ 機械・配管支持方法 ⑰ 通信・情報設備	
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進(Universal Design)		得点		3.4		
	■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり)	Q-2	1	1.1 3.1	⑱⑲ ユニバーサルデザイン計画 ⑲ 階高のゆとり ⑲ 空間の形状・自由さ	
		3	3.1	3.1.1 3.1.2		
	■室外環境(敷地内)対策 (㉑地域性・アメニティへの配慮)	Q-3	3	3.1	㉑ 地域性への配慮、快適性の向上	
"緑化及び自然景観"の保全・回復(Nature)		得点		2.5		
	■室外環境(敷地内)対策 (②生物環境の保全と創出/②まちなみ・景観への配慮/⑥敷地内温熱環境の向上)	Q-3	1		② 生物環境の保全と創出 ② まちなみ景観への配慮	
		2		⑥	敷地内温熱環境の向上	
		3	3.2			
	■敷地外環境対策 (⑬温熱環境悪化の改善)	LR-3	2	2.2	⑬ 温熱環境悪化の改善	